

こっこめ通信 12 2025

「初記録に会いたかった」号



八丈島ではアカッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

甚大な被害をもたらした台風 22 号の通過から 50 日ほどが過ぎました。八丈植物公園は、11 月 29 日からビクターからキョンまで、南エントランスからキョンまでの園路を開放し、少しずつ利用できる範囲を広げています。まだ入れない場所も多いですが、少しずつ以前の姿に戻りつつあります。温室の開放はもう少しお待ちください。さて、今回は「秋のスワッグを作ろう」と「初記録と 13 年ぶり？の記録」についてのお話です。

秋のスワッグを作ろう

11 月の八丈学講座は毎年恒例となりつつある「秋のスワッグを作ろう」を実施しました。台風の影響で公園内が閉鎖されていたため、ガイドウォークや植物公園季節調査会など屋外行事が中止となるなか、今回の八丈学講座は館内実施だったため、予定通り開催しています。

本来は、島内で採集したいろいろな植物を材料に使いたかったのですが、台風の影響で利用できる植物の種類や量は限られてしまいました。そんな中でも参加者 9 名は材料を譲り合いながら制作に取り組んでくれました。前回参加された方は 1 時間ほどで完成させ、残った材料を使って 2 つ目の作品も制作していました。小さなスワッグを 5 個作り、紐でつなげてガーランドのような作品に仕上げる方もいました。材料が少ない中でも参加者それぞれが工夫を凝らし、個性豊かなスワッグを完成させています。以下に参加者の作品を紹介します！(K.T.)



「アカッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

初記録と13年ぶり？の記録

オオマシコ *Carpodacus roseus*

11月の八文学講座「秋のスワッグを作ろう」で使う材料集めをまだ間があるからと油断している内に、あれよあれよと二つの台風の襲来、その後も安定しない天候。やっと晴れた11月8日、材料集めに出掛けたときのことです。

アロエ園から永郷富士山線を登っていた私たちの目の前を地面から飛びたつ赤い鳥が！以前この辺りで見かけたことがあるハギマシコ？アカマシコ？と確認しようと双眼鏡を出している間に何処かに行ってしまいました。見失ってしまったのであまり気にも止めず、採集を続けていると、目の前に赤い鳥が！1メートルほどの至近距離に現れたのです。慌てて車に戻りカメラを手にシャッターを切りました。

戻って調べてみるとオオマシコだと判りました。八丈ビジターセンター初記録は言うまでも無く、日本鳥類目録改訂第8版で調べるとオオマシコの伊豆諸島での記録は無かったので、伊豆諸島初記録になるのかもしれない。

そんなオオマシコに出会えて、しかもしばらくの間遊んでもらえた私達は幸せ者です！（M.K.）



オオマシコ

2025年11月8日 永郷富士山線 撮影:M.K.



オオマシコ

2025年11月8日 永郷富士山線 撮影:M.K.

シラガホオジロ *Emberiza leucocephalos*

10月30日、島民バーダーの方から、「大潟浦園地にシラガホオジロがいます！」と連絡がありました。直ぐに確認に行くと園地の芝生の上でスズメと一緒に地面でイネ科の穂を啄んでいるシラガホオジロを確認しました。オスが1羽（右写真上）とメスが2羽でした。警戒心の高いスズメが飛び立つと一緒に飛び立ってしまいましたが、しばらく待つと戻ってきたので、相当お腹が空いていたのかもしれません。

シラガホオジロは、こっこめ通信2012年11月号でも紹介しています。この時も台風21号が接近し、北東の風が吹いていました。今回も台風22号（もしくは23号）の北東の風で島に辿り着いたのかもしれません。ビジターセンターの記録としては13年ぶりになります。

実は大潟浦に向かう途中、南原千畳敷付近にもシラガホオジロのメスが1羽いました（右写真下）。きっと大潟浦の3羽と一緒に渡ってきたのでしょう。大潟浦との距離は800m。無事に落ち合って、越冬地に旅立っていることを祈ります。

次回会うのも北東の風が吹く台風後ですね。（H.T.）



シラガホオジロ

2025年10月30日 大潟浦園地 撮影:H.T.



シラガホオジロ

2025年10月30日 南原千畳敷 撮影:H.T.

八丈植物公園季節調査会の報告

前回から2ヶ月ぶりの季節調査となりました。台風の影響で園内のほとんどが立ち入り禁止となったため、行事は中止とし、スタッフ2名で調査を行いました。台風が過ぎ去った後の園内は、枝葉が吹き飛ばされてすっかりしたせいか、日差しが差し込む場所が増えました。記録はあまり残せないだろうと思っていましたが、結果的に87種類を記録することができました。園路が開放された際には、以前と雰囲気が大きく変わった園内を散策してみるのも面白いと思います。(K.T.)

(* 11月29日に一部開放済み)

八丈植物公園季節調査 2025年11月9日(日)、天気：くもり、気温：23.8℃ 調査者：0名 VC：2名

1	ヤブニッケイ	実						
2	タコノキ	倒木のため記録なし						
3	オオタニワタリ	定点観察していたものは岩から脱落したため、記録なし						
4	ニオイウツギ	実が熟してきた						
5	ニオイバンマツリ	葉が茂る、蕾						
6	オオシマザクラ	新芽、花、若い実が3つ						
7	アオノクマタケラン	赤い実目立つ	35	シマスズメノヒエ	花・実	63	メヒシバ	実
8	アキノノゲシ	若い実	36	シマモクセイ	蕾・花	64	ヤブツバキ	実割れる
9	アシタバ	花	37	スイカズラ	実			
10	アベリア	花	38	ススキ sp	実	シダ植物		
11	アロウカリア	雄花・球果	39	ストレチア	花	1	イシカグマ	孢子
12	イヌビワ	若い実	40	セイタカアワダチソウ	花・実	2	ウチワゴケ	
13	イヌマキ	実	41	セイヨウタンポポ	花	3	オオイタチシダ	孢子
14	イワニガナ	花	42	センダン	花残る	4	オニヤブソテツ	孢子
15	インドゴムノキ	実熟す	43	ソテツ	実	5	カニクサ	
16	ウスベニニガナ	花・実	44	ソメイヨシノ	花	6	タチクラマゴケ	一部紅葉
17	ウメ	花	45	タイミンタチバナ	実	7	タチシノブ	
18	ウリクサ	花	46	ツルグミ	新芽	8	タマシダ	
19	オオアレチノギク	蕾・花	47	ツルソバ	花	9	トラノオシダ	
20	オオムラサキシキブ	実色づき始め	48	ツワブキ	蕾・花	10	ナチシケシダ	
21	ガクアジサイ	実	49	トベラ	実	11	ノキシノブ	孢子
22	ガザニア	花	50	ナガエコミカンソウ	実	12	ハチジョウカナワラビ	
23	ガジュマル	実熟す	51	ノジスミレ	閉鎖花	13	ハチジョウシダ	孢子
24	カタバミ	花	52	ハイビスカス	花	14	ハチジョウベニシダ	新葉
25	カナリーヤシ	花・実	53	ハキダメギク	花	15	ハマハナヤスリ	
26	カラムシ	実	54	ハゼノキ	紅葉始まる	16	ヒトツバ	孢子葉
27	キツネノマゴ	花・実	55	ハチジョウアザミ	蕾・花・実	17	ヘゴシダ	新芽
28	キンモクセイ	花残る	56	ヒサカキ	蕾	18	ヘラシダ	
29	クロマツ	球果	57	ヒナギキョウ	花	19	ホシダ	
30	コナスビ	花	58	ヒメユズリハ	実	20	ホラシノブ	孢子
31	コブシ	実	59	ヒメヨツムグラ	花・実	21	マツバラン	孢子
32	コミカンソウ	実	60	フウトウカズラ	実色づく	22	マメヅタ	孢子葉
33	シチトウスミレ	花	61	ホルトノキ	実残る	23	ワラビ	
34	シマクサギ	実	62	メタセコイア	黄葉			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、稀に渡ってくる「ハギマシコ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハギマシコ *Leucosticte arctoa*

アトリ科ハギマシコ属。冬鳥として全国(沖縄除く)に飛来します。萩猿子(はぎましこ)の「猿子」は、ニホンザルの顔が赤いことからつけられ、多くの赤い小鳥に「マシコ」の名前が入っているようです。八丈島では、11月頃に数羽の群れで稀に渡ってきます。飛来場所は林道や海岸沿いで、アザミも種子をついばむ姿が見られます。島に飛来の情報があれば、必ず探しに行く鳥です。(H.T.)

2025
12

ハチビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	○ 5	6 ガイドウォーク
	01:50 07:30 13:43 20:27	03:05 08:32 14:22 21:11	04:06 09:26 14:59 21:54	05:02 10:13 15:37 22:38	05:54 10:56 16:15 23:22	06:44 11:38 16:55
大雪 7 ガイドウォーク	8	9	10	11	● 12	13 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」
07:32 12:18 17:36 00:07	08:18 13:00 18:19 00:52	09:01 13:46 19:05 01:36	09:42 14:42 19:56 02:19	10:20 16:00 21:05 03:01	10:58 17:38 22:52 03:46	11:38 18:57 04:41
14 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	15	16	17	18	19	● 20 ガイドウォーク 冬の特別行事「小さなツリーを作ろう」
01:03 12:24 19:51 05:53	02:41 13:11 20:34 07:15	03:43 13:57 21:12 08:26	04:27 14:39 21:47 09:23	05:04 15:17 22:22 10:07	05:38 15:52 22:55 10:44	06:10 16:25 23:28 11:17
21 ガイドウォーク	冬至 22	23	24	25	26	27 ガイドウォーク 八丈学講座「ディープな水槽解説」 冬の特別行事 「こっこめクエスト」
06:42 11:47 16:58 00:01	07:12 12:17 17:31 00:01	07:43 12:50 18:06 00:34	08:15 13:28 18:45 01:08	08:49 14:13 19:31 01:43	09:24 15:09 20:29 02:21	10:02 16:20 21:49 03:03
● 28 ガイドウォーク 冬の特別行事 「こっこめクエスト」	29 ガイドウォーク 冬の特別行事 「こっこめクエスト」	30 ガイドウォーク 冬の特別行事 「こっこめクエスト」	31 ガイドウォーク 冬の特別行事 「こっこめクエスト」			この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります
10:44 23:42 03:53	11:33 04:59	12:29 06:26	13:26 07:59			

イベントプログラム

冬の特別行事 「リースを作ろう」	島にある自然素材を使ってリースを作ります。小学生は保護者と一緒にひとつ作ります。 12 / 13 (13:30 ~ 約1時間半) ビジターセンター集合・解散 中学生以上、または小学生と保護者 参加費：無料 定員：10名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を感じましょう！ 12 / 14 (13:30 ~ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
冬の特別行事 「小さなツリーを作ろう」	クロマツのマツボックリとハマボスやカラスザンショウなどの小さな実を使って作ります。 12 / 20 (14:00 ~ 16:00) 時間内であれば好きな時間に参加 OK！ だれでも参加できます！ ビジターセンターにて 参加費：無料 申し込み：不要
八丈学講座 「ディープな水槽解説」	いつもの解説以上のディープな水槽解説を行います！ 12 / 27 (13:30 ~ 約1時間半) 水槽前で解説員が待っています！ ビジターセンターにて 参加費：無料 申し込み：不要
冬の特別行事 「こっこめクエスト Revival in Winter」	クイズイベントが1年ぶりに帰ってきました！クイズに答えてオリジナル缶バッジをゲット！ 12 / 27 ~ 1 / 4、(9:00 ~ 16:00) だれでも参加できます！ ビジターセンターにて 参加費：無料 ※期間中ひとり1回まで参加できます
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日祝日及び休日、(10:30 ~ 約1時間) だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00 ~	八丈・海・生きものたち
11:00 ~	おじゃりやれ 八丈島
14:00 ~	おじゃりやれ 八丈島
15:00 ~	おじゃりやれ 八丈島
16:00 ~	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2025.12.1 第295号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

オオマシコの情報があった後、何度探しに行ったことでしょう。八丈島に稀に渡ってくる鳥たちは「一期一会」な出会いが多いです。そうかと思えば、今年飛来したマガン一家(7羽)は、食事場所・水飲み場が決まっていて、どちらかにいることが多いです。(H.T.)